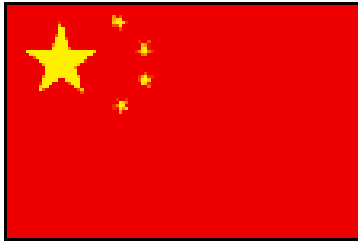




八王子国際フレンドからのメッセージ



中国



プロフィール

名前：張 燕芳 (チョウ エンホウ)
出身地：広東省珠海 (シュカイ) 市
日本在住：4年目
趣味：旅行



日本での暮らし紹介



私は中国広東省珠海 (シュカイ) 市から来ました「張 燕芳」(チョウ エンホウ) といいます。去年の4月から、杏林大学3年に編入学しました。日本での生活は今年で4年目になりますので、もうすっかり慣れました。

来日する前は、日本という国をいろいろ想像していましたが、1年で帰国する予定でしたが、1年間暮らしてみて「まだ帰国したくない。」「もっと日本にいてみたい。」という気持ちが芽生えてきました。日本で生活すればするほど、日本が好きになりました。

これからもずっと日本で生活したいので、今は日本での就職活動を頑張っています。



故郷の紹介



私の故郷は、中国の南にある広東省珠海 (シュカイ) 市です。カジノで有名なマカオのすぐ隣で、香港とはフェリーで1時間のところです。

人口は約160万人、面積は約1700平方kmで、東京都よりちょっと小さいくらいです。ハワイと同じ緯度で気候は温暖、夏は日本と同じですが、冬はセーター一枚で過ごせるとても住みやすいところです。

さて、皆さんに、私の故郷の自然環境と食べ物を紹介したいと思います。

まず、自然環境では、珠海（シュカイ）の島々です。

珠海（シュカイ）市は南シナ海に面しており、140余の島々があります。

週末になると、都会の喧騒から離れ、穏やかな海の景色を楽しむことができます。

日常から解き放され、頬を撫でる風や、静かなビーチでのんびりと時を過ごし、美しい自然の中を散策したりして、心も体もリラックスできる最高のロケーションです。



美しい珠海（シュカイ）の島々



次は、珠海の食べ物についてです。

湾仔（ワンチャイ）というところは、マカオと小さな入江が向かい合ったところです。夜になるとマカオのきれいな夜景を一望できます。

しかし、ここで私が紹介したいのは、夜景ではなく、「海鮮レストラン街」です。

このレストランの両側には、様々な魚、カニ、エビ、魚介類が生け簀（いけす）に生きたまま売っています。そこで買った海鮮類は、すぐ前のレストランで自分の好みの調理をしてもらうことができます。

また、特に有名なのは牡蠣（かき）です。車で20分のところに牡蠣の養殖場があり、秋になると、大きく育った牡蠣をその場で調理して食べます。牡蠣の調理法はいろいろあり、とてもおいしいですよ。ここは、珠海ならではの独特の場所だと思います。

皆さんがもし珠海へ行かれたら、是非立ち寄っていただきたい場所の一つです。



湾仔（ワンチャイ）の海鮮レストラン街



魚介類が売られる様子

最後はフルーツです。

珠海は亜熱帯で、果物が豊富です。リュウガンやマンゴなど、たくさんの種類があります。中でも、特に有名なのが「ライチ」です。上品な甘さと香りから、中国では古くから珍重されました。

唐の時代、楊貴妃はライチが好きで、それを好んで食べたので美しくなったとの説もあります。新鮮なライチを味わうため、一本の木を華南から長安まで早馬で運ばせたとの話も有名です。

5～6月になると、ピンポン玉ぐらいの赤いライチがあちこちで見られます。珠海市の郊外にはライチの林があり、そこへ行けば『ライチ狩り』を楽しむことができます。



多くの実をつけたライチの木



赤いライチの実

これも地元の果物です。



リュウガン



ゴレンシ



マンゴー

珠海の良いところは、以上紹介したものだけではありません。

日本の熱海市と友好都市で結ばれた珠海の街は、ゆっくりと散策するともっと意外な発見があるかもしれませんよ。皆さん、是非一度おいでになっていただけませんか。

その機会を心からお待ちしております。